

【奨学生願書 書き方注意事項】

(第1号様式)

公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団 奨学生願書



ふりがな		昭和 年 月 日生		写真	
氏名		平成 満 歳 (4月1日現在)			
①	他の機関からの 奨学金の有無	有 申請中 無 (併用可)		機関の名称 ()	
②	進学	学校 学部 学科 学年		所在地 〒 () TEL ()	
	校	平成 年 月 入学	修学年数 年	入学前の学校	
		平成 年 月 卒業予定			
③	住所	本人 〒 → TEL・携帯 ()			
		自宅、下宿、間借、親戚宅、知人宅、寮、社宅、その他 ()		家族 〒 TEL ()	
④	家族構成	続柄	氏名	年齢 職業、勤務先など (々々)	TEL (携帯)
		父	母		
⑤ ⑥	及び収入状況	同居	別居	所得額 (月平均/税込) 千円	
⑦	父母死亡の場合	死亡 昭和 年 月 日 (当時 歳)			
	生活費	(千円)			
⑧	計支出状況 (月平均)	教育費	本人への送金、教育費	主 建物	その他
			他の子供への教育費		
⑨	状況 (月平均)	家賃 地代	借入金返済	家 産	
		その他 ()			
		合 計			

(注) 願書は奨学生本人が自署の事。(特に志望動機は必ず記入の事。)

- ① 他の機関からの奨学金併用可能。
- ② 進学してから本人が住む住所。アパート名等、部屋番号まで記入。
- ③ 本人の日中、連絡が取れる連絡先 (携帯電話等)。
- ④ 保護者の日中、連絡が取れる連絡先 (携帯電話等)。
- ⑤ 家族の住まいに対して、同居か別居かを記入。
- ⑥ 同居していない、兄弟・姉妹も記入。
- ⑦ 進学してからの本人への送金、教育費。
- ⑧ 地目・坪数・平米数等。
- ⑨ 持家 (木造・鉄筋コンクリート) 等。
- ⑩ 必ず奨学生本人自署。
- ⑪ 氏名、各自の自署。

奨学金貸与を希望する理由（具体的に）	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	
	←	
進学先志望動機	----- ----- ----- ----- ----- ----- ----- -----	
連帯保証人	ふりがな 氏名	生年月日
	住所 〒	連絡先(職場等)
	TEL ()	本人との関係
	ふりがな 氏名	生年月日
	住所 〒	連絡先(職場等)
	TEL ()	本人との関係
<p>公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団の奨学生としてご採用いただきたく 連帯保証人と連署をお願いします。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">本人 ②</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人 ②</p> <p style="text-align: right;">連帯保証人 ②</p> <p>公益財団法人 岡田甲子男記念奨学財団 理事長 大島 洋太郎 様</p>		

⑩

⑪

【備考】 * 添付書類

- | | |
|--------------------------------|--|
| 1. 世帯全員の住民票 | 5. 保護者(父母)の所得証明書(原本) |
| 2. 学校長等の奨学生推薦書
(第2号様式)(卒業校) | 源泉徴収票(原本) |
| 3. 学業成績証明書(卒業校) | 確定申告書の写しのいずれか1通 |
| 4. 進学先在学証明書 | 6. 交通遺児の場合は、交通事故証明書 |
| | 7. 連帯保証人は保護者1名と生計を同じくしない者1名とすること
(年齢制限有り) |

【備考】 ※添付書類について(1, 4, 5, 7の項目についての説明)

- 市役所で世帯全員の住民票の写しを取る時「世帯主名とその続柄をのせる」にチェックしてください。
- 進学先在学証明書は入学してから期日までに郵送で提出してください。
- 確定申告書の写しは、税務署の受付印が押印してあるものとします。
- 生計を同じくしない連帯保証人の年齢制限は、一般的な金銭の貸借として年齢を考慮してください。採用後に、誓約書(第4号様式)を提出して頂きますが、その際連帯保証人の印鑑証明書を提出してもらいますので、その事もあわせて考慮してください。

☆ 在学証明書は進学されてから募集最終日までに郵送等で受付しますので、それ以外の願書・添付書類が揃えば、先に提出してください。